

スマホカメラで売れ写真 ～簡単なカメラアプリの使い方と、撮る前に描くイメージ～

撮り方で写真の出来、変わります

答えは大体ネットにあります。Google/Yahooでの検索や、Instagram、YouTube等のサイトやSNSでの検索を使って、「スマホ 撮影 コツ」などで検索してみましょう。

例えば…

- 音量ボタンで撮影
- グリッドを表示してバランスを整える
- 明るさ（露出）補正
- フラッシュはオフにする
- アングル・構図に気を遣う

撮りたい写真・用途によってアプリを変えるのもアリです

- 料理 → Foodie
- ネット通販（背景削除） → Squareフォトスタジオ ※iPhoneのみ
- 無音撮影 → 「マナーカメラ アプリ」で検索
- 人物（アパレル・化粧品等） → BeautyCam / SNOW
- 細かい設定をしたい → Filmic Pro
- 細かく編集をしたい → Lightroom

売れる写真を撮る前に考えてみよう

…そもそも「売れそうな写真」って？

おすすめのキーワードは「ハンドメイド（またはフリマ） 写真 コツ」。写真で売上が左右される人が語るスマホ撮影のポイントはノウハウが豊富です。

多くの商品ページの中から見つけてもらい、さらに購買意欲を刺激するためには、**魅力的（欲しくなる・わかりやすい・サイズ感・使用イメージが伝わる）**な商品写真が必要です。

また、エステ・美容室等無形のサービスを扱っている場合であっても、店の雰囲気やエントランスの写真で**安心感や信頼感、高級感、居心地の良さ**などを伝えることは可能です。

(参考) 楽天・Amazon・Yahoo!の「商品画像登録ガイドライン」

ECモールでの販売に関しては、掲載する写真・画像のルールがあります。「そこを踏まえて、どうするか？」について載せている記事のリンクです。



Yahoo!ショッピング



楽天市場



Amazon

商品写真は、プロダクトカット・イメージカット・モデルカット の3種類に大きく分かります

商品写真の種類と撮り方

【用途】ECサムネイル用・画像加工用（背景削除）・説明用など

(プロダクトカット)

「物撮り」ともいう。「ぶつ撮り コツ」「ブツ撮り セット 自作」などで検索してみましょう。白背景で撮るのが一般的ですが、白い物を撮る際にグレーの背景にしたりすることもあります。

太陽光を活用して明るさを確保したり、ブレの無いよう三脚を使ったりして、**正確で詳細な撮影**を心がけます（大量にある場合、プロに任せるのも有効）。



水平（立体的なもの）

俯瞰（小物・平べったいもの）

商品写真の種類と撮り方

【用途】EC2枚目以降サムネイル・SNS等Web画像・チラシなど

(イメージカット)

ブランドイメージや世界観を表現する。SNSで照明や背景・構図など撮り方の説明をしているアカウントが多い。

誰向けの写真で、写真を見ることでどのようなイメージを持ってもらいたいのか？などの**コンセプトをあらかじめ決めてから撮影**すると、より効果的です。



SNS投稿用写真（ひつまぶし）

(参考) おすすめするアカウント



ゆーいちさんYouTube



もちさんTwitter(X)

商品写真の種類と撮り方

【用途】アパレル・アクセサリ・ネイル・美容室（カット事例）・人物・店内写真など

(モデルカット)

着てみたらどのようなサイズ感やイメージになるか？どのような店の雰囲気か？どのような人物か？などの**イメージが湧くような写真**。

リアル感を出すため、真正面を向かず自然な感じで撮る（撮れるよう工夫する）のがいいモデルカットのコツです。

また、ロケーション（撮影場所）に気を遣うのも有効です。



えいの行政書士事務所HP用画像
(山崎がスマホで撮影)



某アパレル店舗SNS用画像
(スマホで撮影@群馬産業技術センター)